

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	総合臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	315 (7) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期	教室名	実習施設
担 当 教 員	荒木 将平 他	実務経験とその関連資格	理学療法士として回復期病院、介護老人保健施設に勤務経験あり。臨床実習指導者としての経験もある。			
《授業科目における学習内容》						
学内で学んだ理学療法評価、治療を各施設における臨床実習指導者の指導の下で、実践する。 (理学療法プロセスにおける検査測定から統合と解釈を中心とした実際の理学療法を臨床実習指導者の助言により経験する。)						
《成績評価の方法と基準》						
実習指導者による報告書、および臨床実習後の報告会等により総合的に評価する。 無断欠席を行うとその時点で実習が中止になることがある。また、正当な理由がなく実習時間の5分の4未満の学生は、成績評価の対象とならない。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
1～2年で使用した教材、配布プリント(実習要項 等)他						
《授業外における学習方法》						
事前にそれまで学んだ基礎医学、臨床医学、専門知識、技術について自己学習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
・実習時間を280時間とし、実習前評価を18時間、実習後評価を17時間の315時間で構成する。 ・全ての実習(見学実習・地域理学療法実習・評価実習・総合臨床実習)時間の三分の二以上は医療提供施設において行う。また、医療提供施設において行う実習時間のうち二分の一以上は病院又は診療所において行う。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
実習前評価	演習形式	授業を通じての到達目標	総合的な知識及び基本的技能・態度を備えることができる		配布プリント	理学療法に必要な知識や技術について復習する。
		各コマにおける授業予定	実習前評価 (18時間) OSCE(客観的臨床能力試験) ・リスク管理、理学療法評価、理学療法治療技術			
臨床実習	実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の監督・指導のもと実習要項に記載されている一般目標および行動目標が達成できる		各種教科書	実習で感じた疑問解決のための自己学習 症例記録記載
		各コマにおける授業予定	実習への心構え、実習オリエンテーション 病院、施設 評価実習(280時間)			
実習後評価	演習形式	授業を通じての到達目標	実習での経験を簡潔にまとめ、分かりやすく報告できる 他施設に実習に行った学生の経験値を共有することができる		レジュメ・パワーポイント	実習終了後に自己の学習上の不足している点を把握する。
		各コマにおける授業予定	症例報告会及び振り返り(17時間)			
		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				
		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				